

平成 24 年 9 月 14 日
環境部清掃リサイクル課

平成 23 年度の練馬区リサイクル推進計画の進捗状況 および一般廃棄物処理事業の評価について（報告）

「練馬区リサイクル推進計画」は、練馬区第 3 次一般廃棄物処理基本計画（計画期間：平成 23 年度～平成 32 年度）（以下「一廃計画」という。）の目標達成に向けた行動計画として位置づけ、平成 23 年 3 月に一体として改定し、毎年度の進捗状況を点検することとしている。

「一般廃棄物処理事業」は、一廃計画において、リサイクル推進計画の内容をもとに基本指標、モニター指標および取り組み指標により評価を行い、評価結果を次年度の一般廃棄物処理実施計画に反映することとしている。

このたび、平成 23 年度の練馬区リサイクル推進計画の進捗状況および一般廃棄物処理事業の評価がまとまったので、以下のとおり報告する。

1 リサイクル推進計画の進捗状況（取り組み指標）

区 分	取り組み 項目数	新規実施	継続実施	未達成	未実施 ×
重点的取り組み項目	5	1	4	0	0
		5(100%)		0(0%)	0(0%)
継続する取り組み項目	37	0	30	5	0
		30(85.7%)		5(14.3%)	0(0%)
合 計	42	1	34	5	0
		35(87.5%)		5(12.5%)	0(0%)

継続する取り組み項目のうち、2 項目について評価対象外としたため、進捗割合の算出にあたっては、分母から除いている。

【評価対象外とした項目】

- ・ 柱 - 3 - (1) - - 4) 「リサイクルショップガイドマップの作成および更新事業を行う」
- ・ 柱 - 3 - (1) - - 2) 「区立施設における落ち葉のたい肥化を実施する」

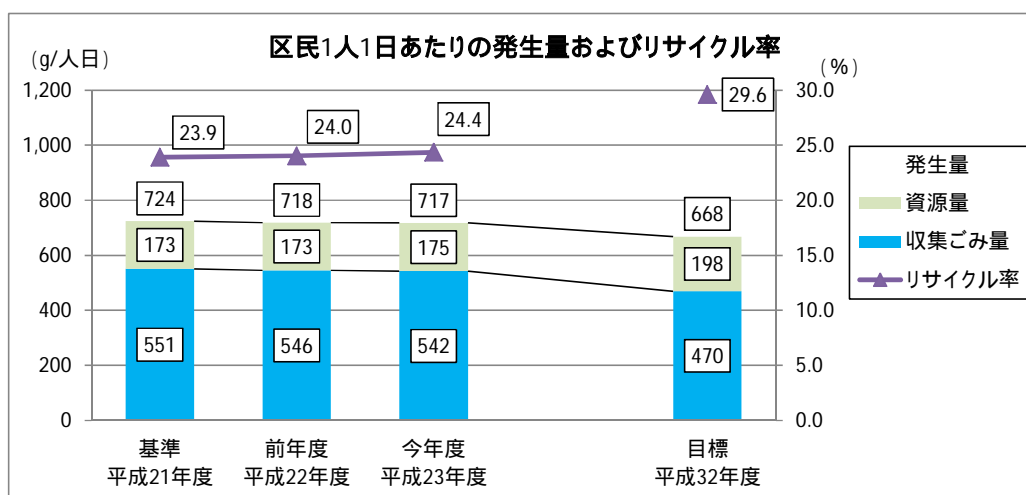
2 一般廃棄物処理事業の評価

(1) 基本指標

指標名		平成23年度 実績	目標(平成32年度)	目標との差
			基準(平成21年度)	基準との差
			前年度(平成22年度)	前年度との差
区民1人1日あたり (g/人日)	発生量	717	668	49
			724	7
			718	1
	収集ごみ量	542	470	72
			551	9
			546	4
	資源量	175	198	23
			173	2
			173	2
リサイクル率(%)		24.4	29.6	5.2
			23.9	0.5
			24.0	0.4
持込ごみ量(t)		23,517	25,919	2,402
			25,083	1,566
			23,678	161

注) 端数を四捨五入しているため、収集ごみ量+資源量=発生量とならない場合などがある。

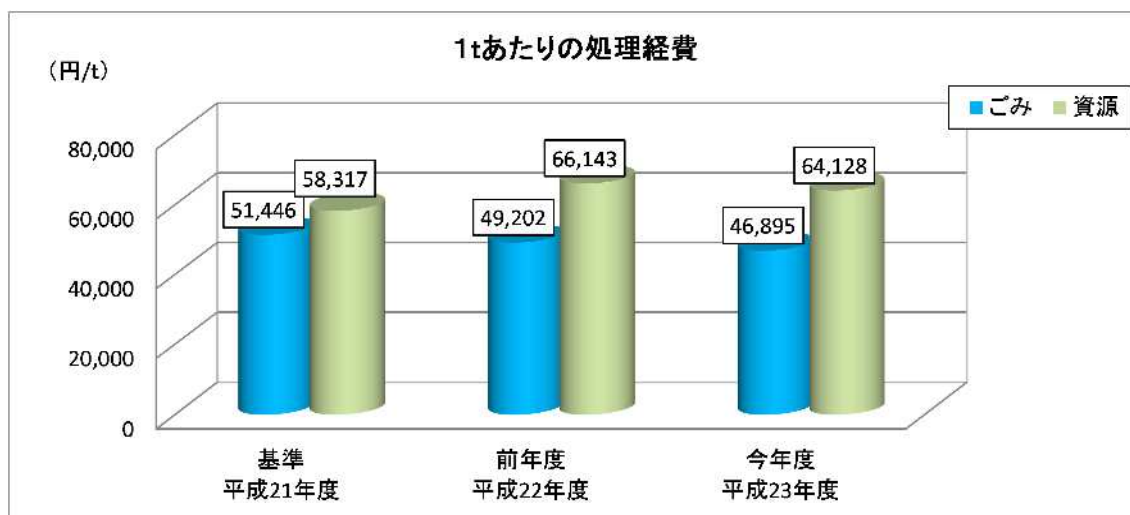
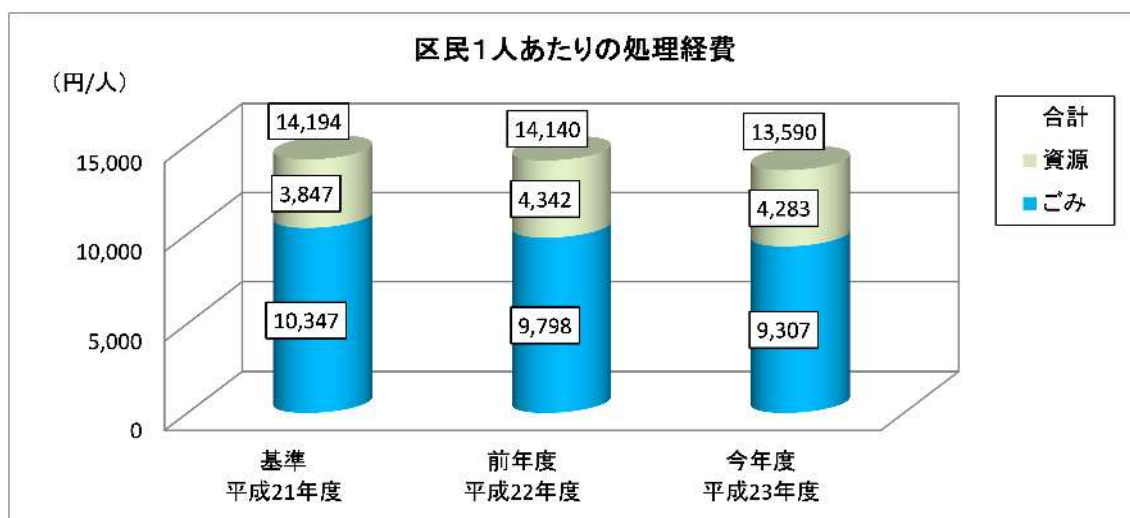
一廃計画では、資源総量(区が回収した資源量+中間処理施設からの資源回収量)を指標としたが、中間処理施設からの資源回収量の算定にあたり、各区のごみ量で中間処理施設からの資源回収量を按分していたが、この間、様々な資源化事業(粗大ごみからの金属類資源化事業など)に取り組んでおり、ごみの組成比率が変わってきたことから、按分するだけでは正確な回収量を推計することが困難になってきたため、評価にあたっては区が回収した資源量を指標にすることとした。なお、これによりリサイクル率の算定を、資源量÷発生量とした。



(2) モニター指標

指標名		平成23年度実績	基準(平成21年度)	基準との差
			前年度(平成22年度)	前年度との差
区民1人あたりの処理経費(円/人)	ごみ	9,307	10,347	1,040
			9,798	491
	資源	4,283	3,847	436
			4,342	59
1tあたりの処理経費(円/t)	ごみ	46,895	51,446	4,551
			49,202	2,307
	資源	64,128	58,317	5,811
			66,143	2,015

平成23年度実績を決算額に修正しました。



リサイクル推進計画進捗状況一覧表

別紙

	凡 例
【進捗評価】欄の表示	：新しい取り組みを実施した項目
	：取組内容を継続して実施している項目
	：取組内容を継続して実施したが未達成項目
	x：取組内容の未実施項目
	：評価対象外とした項目

(1) 重点的取り組み項目

項目1 広報・PR活動の充実

柱	発生抑制の推進		
方針	1 環境教育の推進と普及啓発 (2) 普及啓発事業の推進 広報・PR活動の充実		
目 標	区民1人1日あたりのごみ量が目標年次に目標値を達成している。		
取組内容	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)ねりま区報、区ホームページで清掃・リサイクルなどの啓発事業を実施する。	ねりま区報、区ホームページにリサイクルマーケットやリサイクルセンターの区民向け講座の開催案内を掲載した。	5つの個別施策の実績を踏まえ、区民1人1日あたりのごみ量の減量度合い、可燃ごみ中の資源化可能物の混入率度合いにより評価する。	区民1人1日あたりのごみ量は、平成22年度の546gから平成23年度は542gへと減量しており、「練馬区第3次一般廃棄物処理基本計画」における平成23年度の目標値542gを達成した。また、可燃ごみ中の資源化可能物の混入割合は、平成22年度の20.8%から平成23年度は20.1%となり分別状況が改善された。
2)外国人向け啓発パンフレットを充実する。	簡易版「資源ごみの分け方出し方」(英語・中国語・ハングル・タガログ語)を配布した。		
3)町会・自治会などと連携した啓発活動を実施する。	練馬区環境清掃推進連絡会と協働で、地域の環境・清掃・リサイクルに関する事業を実施した。 【主な活動内容】 ・区内一斉清掃：平成23年5月、11月 ・施設見学会：平成23年11月 ・ポイ捨て・歩行喫煙防止キャンペーン協力：平成23年6月江古田駅、8月平和台駅、24年1月豊島園駅 ・研修会：平成24年3月		
4)照姫まつり、地区祭などの各種イベントで啓発事業を実施する。	照姫まつり、チャリティープラザ、けやきまつり、消費生活展、その他地区祭等に参加し啓発活動を行った。 環境月間行事(6月)では、区内3か所のリサイクルセンターと区役所アトリウムを会場として、環境に関するパネル展示、体験講座(リサイクルセンターのみ)を行った。 また、ねりま・エコスタイルフェアでは、パネル展示を行った。 ・開催日：平成23年10月16日(日) ・会 場：区立南町小学校 ・来場者：約15,000名		
5)地域単位の青空集会の実施を、ごみの分別の悪い集積所を対象として充実する。	青空集会を実施した。 ・実施回数：4回 ・参加人数：182名		

項目2 リサイクルセンター等地域拠点の充実

柱	発生抑制の推進		
方針	1 環境教育の推進と普及啓発		
	(2) 普及啓発事業の推進 リサイクルセンター等地域拠点の充実		
目標	4か所目となるリサイクルセンターを設置し、練馬区資源循環センターと連携した事業などを展開する。また、4館の運営方針などにより円滑な事業運営がなされている。		
取組内容	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)練馬区長期計画(H22～H26)で位置づけている4か所目となるリサイクルセンターの設置を具体的に明らかにし、4館のネットワーク化を構築するとともに、練馬区資源循環センターとも連携しながらごみの発生抑制やリサイクルのしくみづくりの場となる施設整備をする。	4館目のリサイクルセンター候補地である関越高架下の活用計画に関する協議は、所管課(企画課)と道路管理者(NEXCO東日本)において継続中であり、基本設計への着手は、平成24年度以降となった。また、庁内においては、関越高架下関係会議を6回開催し、整備に向けて協議を行った。	4か所目の施設の整備に関する進捗状況や運営方針などの策定状況を踏まえ評価する。	施設整備に向けた協議を重ねた。

項目3 資源回収事業の継続

柱	リサイクルの推進																																
方針	3 区が進める資源回収の推進																																
	(1) 資源回収事業の推進 資源回収事業の継続																																
目標	既存の資源回収事業において環境負荷を低減する取り組みを進めるとともに、ごみの減量につながる新たな資源を回収する。																																
取組内容	進捗状況	評価方法	進捗評価																														
1)既存の資源回収品目の回収を継続する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【実績量】</th> <th>【計画量】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>古紙</td> <td>28,160t</td> <td>26,951t</td> </tr> <tr> <td>びん・缶</td> <td>7,728t</td> <td>7,765t</td> </tr> <tr> <td>紙パック</td> <td>98t</td> <td>59t</td> </tr> <tr> <td>古布・古着</td> <td>1,047t</td> <td>969t</td> </tr> <tr> <td>乾電池</td> <td>94t</td> <td>102t</td> </tr> <tr> <td>ペットボトル</td> <td>2,430t</td> <td>2,206t</td> </tr> <tr> <td>容器包装プラスチック</td> <td>5,423t</td> <td>5,375t</td> </tr> <tr> <td>廃食用油</td> <td>18t</td> <td>27t</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>44,998t</td> <td>43,454t</td> </tr> </tbody> </table>		【実績量】	【計画量】	古紙	28,160t	26,951t	びん・缶	7,728t	7,765t	紙パック	98t	59t	古布・古着	1,047t	969t	乾電池	94t	102t	ペットボトル	2,430t	2,206t	容器包装プラスチック	5,423t	5,375t	廃食用油	18t	27t	合計	44,998t	43,454t	2つの個別施策の実績を踏まえ、収集・運搬における環境負荷の低減の状況により評価する。	ごみの減量につながる新たな資源回収の取り組みを開始し、既存の資源回収量も前年度比で1.5%増加した。
		【実績量】	【計画量】																														
古紙	28,160t	26,951t																															
びん・缶	7,728t	7,765t																															
紙パック	98t	59t																															
古布・古着	1,047t	969t																															
乾電池	94t	102t																															
ペットボトル	2,430t	2,206t																															
容器包装プラスチック	5,423t	5,375t																															
廃食用油	18t	27t																															
合計	44,998t	43,454t																															
2)新たな資源回収品目の検討を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・小型家電(平成23年9月開始) 携帯電話など9品目を区内5か所で回収。平成24年9月現在7か所 回収量:0.7t ・粗大金属類(平成23年9月開始) 粗大ごみに含まれる金属類を選別、分解し資源化。 回収量:265t ・BDFの自家精製(平成23年10月開始) 練馬区資源循環センターで廃食用油からBDFの精製を行い、区の清掃車2台(清掃車、環境学習車)で利用。 精製量:2,617ℓ 給油量:2,314ℓ ・布団(平成24年3月開始) 粗大ごみから布団を選別し資源化。 回収量:10t 																																

項目4 事業系一般廃棄物の収集・運搬の役割分担の検討

柱	適正処理の推進		
方針	2 効率的な収集・運搬		
	(2) 事業系一般廃棄物の収集・運搬 事業系一般廃棄物の収集・運搬の役割分担の検討		
目標	ごみの排出事業者が、自ら処理または収集・運搬許可業者への委託化を進め、区が収集する事業系一般廃棄物が減少している。また、区の収集システムを利用する事業者は、適正な排出がなされている。		
取組内容	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)区が収集する事業系廃棄物の基準の検討を進める。	区立施設から排出される廃棄物について、平成24年度から一般廃棄物等の許可を持つ事業者へ委託することとした。	2つの施策の実績を踏まえ評価する。	区立施設から排出される廃棄物の処理の委託化の実施に向け検討した。
2)収集運搬許可業者の活用に関する周知活動を進める。	一般廃棄物許可業者の名簿を区ホームページに掲載した。		

項目5 家庭ごみ有料化の検討

柱	適正処理の推進		
方針	4 適正な処理費用負担		
	(2) 家庭系ごみの処理 家庭ごみ有料化の検討		
目標	区民1人1日あたりのごみ量が目標年次に目標値を達成している。		
取組内容	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)練馬区循環型社会推進会議で検討する。	第6期練馬区循環型社会推進会議に、「リサイクル・清掃事業の効率化と負担のあり方について」を諮問し、平成23年度は、家庭ごみ有料化について審議を行い、平成24年3月に答申（素案）をまとめ、6月に区長へ答申した。 ・会議開催回数：7回	練馬区循環型社会推進会議の議論の検討状況、公表の状況を踏まえ評価する。	家庭ごみ有料化について検討され、会議資料や会議録については区ホームページ等で公表した。

(2) 継続する取り組み項目

柱 発生抑制の推進 廃棄物に関する環境教育・環境学習等の推進

方針	1 環境教育の推進と普及啓発		
	(1) 環境教育等の推進		
	廃棄物に関する環境教育・環境学習等の推進		
取組内容(目標)	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)区立小学校、区立幼稚園、区立保育園での分別体験や3R学習を実施する。	<p>清掃事務所で、ふれあい環境学習を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校：65校（5,724名） ・保育園：54園（3,812名） ・幼稚園：3園（349名） ・区立以外（私立幼稚園、私立保育園および高等学校）：5校（549名） 	<p>実施した学校などの数や児童・園児の感想などにより評価を行う。</p>	<p>アンケート・感想文などの内容を反映させ、より分かりやすい環境学習を目指した。</p>
2)区立小中学校等における廃棄物に関する環境教育の充実を図る。	<p>区立小中学校および幼稚園では、学校・幼稚園版環境マネジメントシステムの取り組みを活用し、環境教育の推進を図った。</p> <p>区立保育園では、保育室、廊下等に複数のごみ箱やペットボトルキャップの回収箱を設置し保育園児によるごみの分別活動等各園独自の環境教育を推進している。</p>	<p>環境教育の実施状況などにより評価を行う。</p>	<p>取組内容を継続して実施した。</p>
3)環境クラブ活動の支援や環境作文コンクール事業を実施する。	<p>こどもエコクラブの地域事務局として、環境クラブ活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24クラブ：441名 <p>小・中学生を対象に環境作文コンクールを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生：371作品 ・中学生：949作品 ・入賞：15名 ・環境作文集：1,300部発行 	<p>クラブ活動への支援実績や作文コンクール事業実施の有無により評価する。</p>	<p>取組内容を継続して実施した。</p>
4)練馬区資源循環センターとリサイクルセンターにおいて、区民・事業者向けの環境学習事業を実施する。	<p>【資源循環センター】 家具の修理講習会や清掃・環境についての講習会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会：75回 ・参加者：500名 <p>【リサイクルセンター】 環境・リサイクル講座やリサイクル手作り教室などの講座を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座数：580講座（延705回） ・参加者：14,024名 	<p>区民・事業者向け講座の実績により評価する。</p>	<p>講習会などの実施回数や参加者数が増加した。</p>

家庭での生ごみの発生抑制・資源化の取り組み

方針	2 ごみの発生抑制を優先する活動		
	(1) 家庭での発生抑制		
	家庭での生ごみの発生抑制・資源化の取り組み		
取組内容(目標)	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)家庭での生ごみ減量のために、生ごみ処理機等への購入費助成事業を実施する。	<p>家庭用生ごみ処理機等への購入費助成事業を実施した。</p> <p>【購入費助成件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭用生ごみ処理機：76件 ・コンポスト化容器：45件 <p>【あっせん件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみコンポスト化容器：49件 	助成実績や推計減量により評価する。	助成実績が前年度より伸びなかった。

エコパートナーショップ制度への参加

方針	2 ごみの発生抑制を優先する活動		
	(2) 事業所での発生抑制		
	エコパートナーショップ制度への参加		
取組内容(目標)	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)環境配慮や容器包装の減量に取り組む事業者との協定締結のシステムづくりを行う。	<p>スーパーなどの大型小売店では、すでにISO14001(環境マネジメントシステム)に基づき、環境配慮型商品の販売や環境省に環境報告書を提出していることから、区との協定締結は事業が重複するため難しいとされた。</p> <p>今後は、商店会等が参加しやすいシステムについて検討していくこととした。</p>	協定に基づく取り組み実績により評価する。	制度の検討を進めたが、協定を締結するまでには至らなかった。

練馬区環境管理実行計画に基づくごみの発生抑制

方針	2 ごみの発生抑制を優先する活動		
	(3) 庁舎等区立施設での発生抑制		
	練馬区環境管理実行計画に基づくごみの発生抑制		
取組内容(目標)	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)練馬区環境管理実行計画に基づくごみの発生抑制を実施する。	<p>イベント時に、使い捨て容器の自粛やごみの持ち帰りを呼びかけたり、古紙やびん・缶などのリサイクルを行い、区立施設から排出されるごみの発生抑制に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物排出量：2,078t 	ごみの排出量などにより評価する。	排出量は、前年度より若干、増加した。

再使用・再利用の促進

方針	3 再使用の促進と再生品利用の推進		
	(1) 再使用・再生品利用の促進		
	再使用・再利用の促進		
取組内容(目標)	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)粗大ごみから再使用・再利用できる物を区民に提供する。	<p>練馬区資源循環センターで粗大ごみから選別した家具について、リサイクルセンターで展示・販売を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展 示：4,888点 ・販 売：4,624点 ・無償提供： 280点(被災者対応) 	粗大ごみからの再利用品数などにより評価する。	再利用品数は増加した。
2)大型生活用品リサイクル情報掲示板の活用を図る。	<p>区立施設14か所にある大型生活用品リサイクル情報掲示板を活用し、再利用を促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・譲ります : 556件(成立308件) ・譲ってください：107件(成立 9件) 	掲示件数、成立件数などにより評価する。	掲示件数および成立件数ともに増加した。
3)リサイクルマーケット事業へ支援を行う。	<p>区民が主催するリサイクルマーケットに対し、公園使用許可や資材貸与、ねりま区報への掲載等の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録団体：51団体 ・支援回数：132回 <p>リサイクルマーケット主催者養成講座を実施した。(隔年実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者：12名 	主催者の育成や事業実施回数などにより評価する。	支援回数が減少した。
4)リサイクルショップガイドマップの作成および更新事業を行う。	<p>ガイドマップの作成を検討したが、すでにインターネットやタウンページからリサイクルショップを検索することができるため、ガイドマップの作成をしないこととした。</p>	マップの作成、更新などにより評価する。	- 事業の必要性を精査しとりやめた。

再生品の利用促進

方針	3 再使用の促進と再生品利用の推進		
	(1) 再使用・再生品利用の促進		
	再生品の利用促進		
取組内容(目標)	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)再生品の展示等、情報提供を実施する。	<p>リサイクルセンターにおいて再生品(古布で作った布ぞうり、リバーシブル帽子など)の展示を行い、ゆずりはなどの情報紙に掲載した。</p>	再生品の展示などにより評価する。	再生品の展示は継続的に実施した。

柱 リサイクルの推進

集団回収事業への参加

方針	1 区民が進める資源回収の促進		
	(1) 地域や家庭におけるリサイクル活動の促進		
	集団回収事業への参加		
取組内容(目標)	進捗状況	評価方法	進捗評価
1) 集団回収事業への参加の呼びかけと練馬区環境清掃推進連絡会と連携した取り組みを実施する。	<p>練馬区都市整備公社(現練馬区環境まちづくり公社)では、集団回収事業のパンフレットを配布したり、練馬区と共催で「集団回収推進懇談会」を開催し、町会・自治会等で行っている集団回収の取り組み事例を紹介したりして、集団回収事業への参加の呼びかけを行った。</p> <p>【集団回収推進懇談会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成24年1月27日 会場：練馬公民館(現生涯学習センター) 来場者：130名 <p>【集団回収】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録団体：449団体 回収量：10,976t 	<p>集団回収参加団体数により評価する。</p>	<p>集団回収の登録団体数および回収量ともに増加した。</p>

資源の自主回収の促進

方針	2 事業者が進める資源回収の促進		
	(1) 自主回収の促進		
	資源の自主回収の促進		
取組内容(目標)	進捗状況	評価方法	進捗評価
1) 廃棄物管理責任者を対象とした講習会を実施する。	<p>【廃棄物管理責任者講習会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施回数：4回 参加者：163名 	<p>講習会の実績により評価する。</p>	<p>参加者数が前年度より増加した。</p>
2) 事業用大規模建築物への立入指導を実施する。	<p>床面積1,000㎡以上の事業用大規模建築物立入指導の際、再利用の取り組み、再利用廃棄物保管場所の状況について調査、指導した。</p> <p>【立入指導件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3,000㎡以上：62件 1,000㎡～3,000㎡未満：70件 	<p>立入指導の実績により評価する。</p>	<p>取組内容を継続して実施した。</p>
3) 店頭回収の実施店舗の拡充を進める。	<p>【店頭回収新規店舗数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ペットボトル：13店 乾電池：1店 紙パック：0店 	<p>各店舗への働きかけや支援などにより評価する。</p>	<p>実施店舗数が拡充した。</p>

区立施設でのリサイクルの推進

方針	3 区が進める資源回収の推進		
	(1) 資源回収事業の推進		
	区立施設でのリサイクルの推進		
取組内容(目標)	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)区立施設における古紙等の資源化を実施する。	【回収量】 ・区立施設：766t ・練馬庁舎：194t	回収実績により評価する。	回収実績が増加した。
2)区立施設における落ち葉のたい肥化を実施する。	落ち葉のたい肥化については、福島第一原子力発電所の事故による放射能汚染の関係で、実施を見合わせた。	落ち葉のたい肥化の実績により評価する。	— 評価できない。
3)区立施設における生ごみのたい肥化を実施する。	・回収施設：168施設 ・回収量：1,076t ・練馬の大地出荷量：16t	生ごみのたい肥化の実績により評価する。	取組内容を継続して実施した。
4)練馬区環境管理実行計画に基づく取り組みを実施する。	再利用可能な物品について、遊休物品のあっせん制度を活用し、各組織を横断して再利用に取り組んだ。	取り組みの報告により評価する。	取組内容を継続して実施した。

区民のリサイクル活動への支援

方針	3 区が進める資源回収の推進		
	(2) 区民・事業者への支援		
	区民のリサイクル活動への支援		
取組内容(目標)	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)集団回収事業の参加団体へ物品等を配布する。	【物品等の支援内容】 ・案内板、雨よけシートの貸出し ・空き缶プレス機の貸出し ・1kgあたり6円の報奨金を支給	物品等の活用状況などにより評価する。	取組内容を継続して実施した。
2)3R活動を自主的に取り組んでいる団体等への支援を検討する。	区民が主催するリサイクルマーケットに対し、公園使用許可や資材貸与、ねりま区報への掲載等の支援を行った。 ・登録団体：51団体 ・支援回数：132回	検討内容、支援内容などにより評価する。	取組内容を継続して実施した。

事業者のリサイクル活動への支援

方針	3 区が進める資源回収の推進		
	(2) 区民・事業者への支援		
	事業者のリサイクル活動への支援		
取組内容(目標)	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)事業系の資源回収事業の継続と自主回収を促進する。	商店街オフィスリサイクル事業を継続した。 【回収量】 ・オフィス古紙：12t ・商店街ダンボール：50t	事業系の資源回収や自主回収への取り組みなどにより評価する。	取組内容を継続して実施した。

柱 参画と協働体制の推進

活動に関する情報提供

方針	1 取り組み推進のためのネットワークづくり		
	(1) 区民・事業者・区のネットワークづくり		
	活動に関する情報提供		
取組内容（目標）	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)自主的に取り組んでいる団体を紹介する。	<p>練馬区と練馬区都市整備公社（現練馬区環境まちづくり公社）による共催で「集団回収推進懇談会」を開催し、町会・自治会等で行っている集団回収の取り組み事例を紹介した。</p> <p>【集団回収推進懇談会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成24年1月27日 ・会場：練馬公民館（現生涯学習センター） ・来場者：130名 	団体の把握状況、検討状況により評価する。	各種団体等との情報交換や活動支援を実施した。

区民・事業者・区による情報交換や協議の場づくり

方針	1 取り組み推進のためのネットワークづくり		
	(1) 区民・事業者・区のネットワークづくり		
	区民・事業者・区による情報交換や協議の場づくり		
取組内容（目標）	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)情報交換会等を開催し、協議する場を設定する。	<p>事業者・区による意見交換会を実施し、資源の店頭回収のあり方について情報交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成24年3月16日 ・参加者：7事業者 	情報交換会等の開催状況と協議結果などにより評価する。	取組内容を継続して実施した。

会議体の運営

方針	2 計画推進のしくみづくり		
	(1) 練馬区循環型社会推進会議の運営		
	会議体の運営		
取組内容（目標）	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)円滑な会議体の開催・運営を行う。	<p>ごみ減量に先進的な取り組みを行う自治体の視察や、区のリサイクル・清掃事業における運営の形態や経費などの資料を基に検討した。会議は7回開催し、平成24年3月に答申（素案）をまとめた。平成24年6月に区長へ答申。</p>	会議の内容や検討経過などにより評価する。	審議を行い、諮問事項についての答申（素案）をまとめた。

柱 適正処理の推進

排出ルールへの周知

方針	1 排出ルールへの徹底		
	(1) 区民への周知		
	排出ルールへの周知		
取組内容(目標)	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)啓発パンフレットの配布やねりま区報・区ホームページへの掲載を行う。	<p>啓発パンフレットである「ねりまの環」では、平成24年3月発行の第3号で、水銀を含んだ体温計・血圧計の出し方について掲載するなど、年2回発行した。</p> <p>ねりま区報では、平成23年5月11日号で、ライター・スプレー缶・カセット式ボンベの出し方について掲載するなど、年7回掲載した。</p> <p>集積所の排出状況に応じて、個別にパンフレットやチラシの配布、看板の設置、町会回覧等を行った。</p> <p>この他、区ホームページでも、排出ルールへの周知について掲載した。</p>	可燃ごみ中の資源化可能物などの割合により評価する。	可燃ごみ中の資源化可能物などの割合は、21.4%から21.9%でほぼ横ばいであった。

大規模排出事業者への適正排出に係る普及啓発

方針	1 排出ルールへの徹底		
	(2) 事業者への周知		
	大規模排出事業者への適正排出に係る普及啓発		
取組内容(目標)	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)事業用大規模建築物への立入検査を実施する。	<p>床面積1,000㎡以上の事業用大規模建築物について立入調査を実施した。</p> <p>【立入件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 床面積3,000㎡以上 : 62件 1,000㎡～3,000㎡未満 : 70件 	立入検査の実績や改善などの内容に基づき評価する。	取組内容を継続して実施した。

不法投棄の防止

方針	1 排出ルールへの徹底		
	(3) 不法投棄の防止		
	不法投棄の防止		
取組内容(目標)	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)不法投棄防止看板の配布、安全安心や古紙持去りのパトロールと連携した不法投棄の監視を実施する。	<p>不法投棄防止のため、安全安心パトロールと連携して区道や集積所等における監視活動を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 不法投棄看板配布 : 158枚 不法投棄物収集件数 : 4,385件 	不法投棄物の回収件数実績などにより評価する。	不法投棄の件数が増加した。

効率的で環境負荷の少ない収集・運搬体制の構築

方針	2 効率的な収集・運搬		
	(1) 収集・運搬業務の円滑な実施		
	効率的で環境負荷の少ない収集・運搬体制の構築		
取組内容(目標)	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)環境に配慮した収集車両の導入やエコドライブを実施する。	<p>車両の更新にあわせて、アイドリングストップ機能の付いた車両を3台導入し、うち1台をディーゼル車からCNG(天然ガス)車とした。</p> <p>また、清掃事業所では、朝礼時に安全作業を確認する中で急発進・急停車の防止などのエコドライブについても呼びかけている。</p>	<p>収集車両の導入数や消費燃料などにより評価する。</p>	<p>取組内容を継続して実施した。</p>
2)練馬区都市整備公社(現練馬区環境まちづくり公社)などの民間事業者を活用した収集・運搬体制を実施する。	<p>引き続き公社を活用し、容器包装プラスチックの回収および粗大ごみの収集を実施している。</p> <p>新たに粗大ごみからの金属類資源化事業等を公社に委託した。</p>	<p>公社への委託の継続や新たな委託内容などにより評価する。</p>	<p>取組内容を継続して実施した。</p>

収集・運搬許可業者への助言・情報提供

方針	2 効率的な収集・運搬		
	(2) 事業系一般廃棄物の収集・運搬		
	収集・運搬許可業者への助言・情報提供		
取組内容(目標)	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)収集・運搬許可業者への立入検査を実施する。	<p>【立入検査実施数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物収集運搬業 : 41件 ・浄化槽清掃業 : 6件 	<p>立入検査の実績により評価する。</p>	<p>取組内容を継続して実施した。</p>

清掃一組による共同処理

方針	3 中間処理・最終処分		
	(1) 中間処理		
	清掃一組による共同処理		
取組内容(目標)	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)23区における共同処理体制を継続する。	<p>清掃一組が管理・運営する清掃工場、中防不燃ごみ処理センターおよび粗大ごみ破碎処理施設等による共同処理体制を継続している。</p>	<p>処理体制の状況により評価する。</p>	<p>取組内容を継続して実施した。</p>

資源回収物の中間処理

方針	3 中間処理・最終処分		
	(1) 中間処理		
	資源回収物の中間処理		
取組内容（目標）	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)資源の種類ごとに適正処理されていることを確認する。	<p>毎年行っている「プラスチック製容器包装のペール品の品質調査」において、平成23年度は最も良い「A判定」を受けた。</p> <p>また、その他の資源の中間処理施設においても、定期的に現地調査を行い、適正に処理されているかを確認している。</p>	資源回収物の適正な処理と資源化の状況により評価する。	取組内容を継続して実施した。

東京都の最終処分場での処分

方針	3 中間処理・最終処分		
	(2) 最終処分		
	東京都の最終処分場での処分		
取組内容（目標）	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)中央防波堤外側埋立処分場・新海面処分場での処分を実施する。	清掃工場などによる焼却等の中間処理で発生した焼却灰等について、各処分場で埋立処分されている。	最終処分の状況により評価する。	取組内容を継続して実施した。

小規模事業者に対する排出指導

方針	4 適正な処理費用負担		
	(1) 事業系ごみの処理		
	小規模事業者に対する排出指導		
取組内容（目標）	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)適正な排出への指導を実施する。	<p>区民、職員からの情報をもとに昼夜に排出調査を行い、ごみの分別指導、有料ごみ処理券貼付、収集日の確認等の直接指導およびチラシを配布し、排出状況の改善活動を実施した。</p> <p>・指導件数：564件</p>	指導件数や指導内容などにより評価する。	夜間指導を開始し実績が増加した。

清掃・リサイクル事業にかかる経費の公開

方針	4 適正な処理費用負担		
	(3) 区民・事業者への情報公開		
	清掃・リサイクル事業にかかる経費の公開		
取組内容（目標）	進捗状況	評価方法	進捗評価
1)ごみ処理経費やリサイクル経費を公表する。	<p>平成22年度の経費については、平成24年3月発行の「ねりまの環」で公表した。</p> <p>【区民1人あたりの経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ：9,800円 ・資源：4,340円 	公表の有無、経費削減状況などにより評価する。	経費の公表を行い、また、経費も削減した。